

NPO と市民をつなぐ

みやしるべ



2017 March

特集

NPO 団体
| 座談会開催 |

NPO って何？ 学生たちと座談会開催！

NPO 訪問記

- こころアートコミュニケーション — P4
- サポートステーション Flat — P5
- 市民オンブズ西宮 — P6
- すこやか女性プロジェクト — P7
- ダンスプロジェクト E.d.M — P8
- Namae — P9
- 西宮お手玉の会 — P10
- new-look — P11
- 阪神つばめ学習会 — P12
- 阪神パソコンネット — P13
- 兵庫県不動産コンサルティング協会 — P14
- みやっこサポート — P15



NPOの
仕事って何？

NPOのこと
何も知らないの
でしっかり
学べたらいいな

福祉と介護に
興味がある

教科書では
わからないことを
もっと知りたい

座談会を通して
たくさんのことを
学びたい！

NPO についての疑問を解説
高校生・大学生たちの疑問に
西宮の団体がお答えします！

特集 NPOって何？

学生たちと座談会開催！

NPOという言葉が頻りに聞くようになりました。そこで次代を担う高校生等と共に、NPOについてざっくばらんに語り合う座談会を開催しました。



亀井菜々子さん
市立西宮高校 2 年生



牧野佳夏さん
市立西宮高校 1 年生
野球部マネージャー



三枝知優さん
市立西宮高校 2 年生
野球部マネージャー



星咲穂さん
市立西宮高校 2 年生
野球部マネージャー



半井翔太さん
関西学院大学 2 年生
元市立西宮高校 野球部主将

NPO とは

様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に収益を分配することを目的としない団体の総称です。特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人が「特定非営利活動法人（NPO 法人）」です。

日本の
認証 NPO 法人数
51,356
(平成 28 年 11 月現在)

兵庫県の
認証 NPO 法人数
1,408
(平成 29 年 1 月現在)

西宮市の
認証 NPO 法人数
179
(平成 29 年 1 月現在)

NPO をもっと身近に！

特定非営利活動とは、不特定かつ多数のものの利益に寄与することを目的とした 20 種類の分野に該当する活動のことです。

NPO は福祉分野のみでもありません、個人のボランティア活動とも異なります。

— NPO の第一印象

東 NPO の説明を聞いて、高校生のみなさんどんな印象を持ちましたか？

三枝 NPO って介護とか福祉だけと思っていたら、子供に関することや色々あって文字では分らないことがあるんだなと思いました。

東 そう文字だけでは分からないこと一杯ありますね。

星 福祉以外に、教育とか環境とかにも取り組んでいるんだと思いました。

牧野 NPO って何も知らなかったけれど面白いことをしているなと思いました。

東 とここで NPO って学校でどんな風に習っていますか？
亀井 NPO は非営利組織だから、その程度です。

三枝 私は NPO のことを以前から少し知っていたのですが、みなさんの話を聞いて、明るいうちか、だれかにやらされてというわけでなく、自分からいきいきとして、自分も幸せになり、人も幸せにする活動だなと改めて思いました。
東 やらされているわけじゃないというの大きいポイントですね、仕事をしていくとやらされ感みたいなものがある

てきますが、ここに集まっているみんなそれが無いんです。
半井 僕は以前 NPO 活動に参加したことがあります。

そこは高校生と語り合う場だったので、高校生にとって先生には相談できない斜めの関係の大学生の声を聴けるのはいい活動だと思いました。
— いろいろおせっかいの線引き

木嶋 三枝さん、星さん、牧野さんは野球部のマネージャーということなんですけど、人が嫌がることや、そんなに割に合わないことを進んでるのか一度聞きたいと思っていました。マネージャーの苦労、人のお世話をすることで、悩むことはありませんか？
星 マネージャーをしていて、人のために良くしてあげようと思ってしたことでも、その人にはありがた迷惑になることがある、その線引きに悩みますね。
廣田 それって親子関係でもよくありますね、子供のために良かれと思ってやっても、逆に子供の力をそいでしまったり、その線引きは障害者支援をしていても、毎日悩むところですね。



立田 ある面自然にまかせないといけないところもあるのですが、自分がこんなことでできますよということをいろんな機会に言っておくと、必要に応じて声がかかる。自分ではたいしたこととは思ってなくても人から見るとすごく役に立つことがありますよ。

一人助けをするためのコツ
東 先ほどボランティアのNPO活動に参加したことがあると言っていた方もいたけれど、人助けのコツのようなものはありませんか？

亀井 輪に入れないで、困っている人には「大丈夫、一人じゃないよ」とわざとらしくなく声をかけるようにしています。
廣田 介護をしても、いかに介護していても、いかに障害者の方と外出する時でも黒子になれるか、透明人間み

たいに介護できたらいいなと思います。

東 NPOの活動も野球部のマネージャーの活動も、おしつけがましくなるとだめという共通するものがあるかも知れませんね。いつの間にか活動してお手伝いができ、人助けになっているのがいいですね。野球部のマネージャーの仕事の中で注意していることってありますか？

星 思っていることをあえて全部言わないようにしています。

全部伝えたいけれども、全部伝えると、相手を傷つけてしまったりとかあるので、自分の中で抑えて、伝えたいことだけ伝えるようにしています。

三枝 確かに私も一時、慎重になつて言いたいことをすべて言わないようにしていたのですが、あるときこれじゃダメだと思い、信頼している友人にすべてぶつけてみたんです。そしたら、その人も同じことを思っていることが分かり、それ以来ケンカしても正直にぶつけるようにしています。

久保 すばらしいですね。心理学の手法を実践されているので、すごいなと思いました。自分の課題と他人の課題を



ちやませにすると、言っちゃいけないことまで言ってしまう。

高校生を引き入れるには
東 高校生の皆さんにNPOに参加して欲しいと思うのですが、どうやってたら参加してもらえるのかな？

亀井 フェイスブックとか、SNSで、こういうのがあるよとか、こういうイベントがあることを知ったり、興味があると、他の人と一緒に行動かなと思います。同世代同士で広げていくのが良いと思います。

東 そう私のところでも、阪神まち大学というのをやっているんですけど、高校生の相談が非常に多いんです。オープンキャンパスで大学に行ったりしますが、自分がどこに行ったら良いかわからなくて、ポ

ランテニアさせてくださいという相談が多いですね。職業選択とか、大学の進路とか、限られた中から選ぶより、いろんな人とふれあった方が視野がひろがるので、練習のつもりでぜひ参加してほしいと思います。

市担当者からの意見

東 本日聴講されている市担当者の方から何かご意見ありますか？

市担当者 私は市民協働推進課というところで、NPO等の活動を支援する役割を担っています。昔は、地域の皆さんが、環境、福祉、まちづくりといった公共的な分野で重要な役割を担っていましたが、戦後、高度経済成長期を経る中で、これらは行政の果たすべき役割に変わっていきましました。しかし、これからの時代、行政が今までどおり引き受けるのが難しくなってきました。原因は2つ、少子高齢化と価値観の多様化です。行政のやることが増える一方で、税収や職員の数が減り、十分なサービスが提供できなくなっています。そういったところで重要な役割を担っていただ

るの、NPOのみなさん

あったり、地域のみなさんということになります。高校生のみなさんも、年齢を重ねる中で、地域の活動とかNPOの活動に関心を持ち、積極的に取り組んでいただけたらいいと思います。

一 座談会のまとめ

矢野 今回、いろんな職業の人、いろんな活動をしている人とお話をしてみても、学生のみならず、そして、私たちもとても勉強になりました。社会課題を解決するための仕事や活動、一生懸命取り組んでいる人がたくさんいるんだな、ということがわかりました。これからの時代、NPOと地域のみなさん、そしてこれからの日本を担う学生のみなさんが一緒にやって地域のことを考えていかなければいけないと改めて感じました。本日はありがとうございました。





**各人が抱える苦悩や悩みを
アートセラピーで少しでも軽くしたい**

特定非営利活動法人

ココロアートコミュニケーション

理事長 **安田 千壽子**
やすだ ちずこ

阪神淡路大震災直後から約1年間に及んだ避難所での子どもたちへのボランティア活動等を通じ、色彩やアートの持つメンタルケアの力を実感し、多くの人々に理解していただき、広く社会に役立ててゆく必要性を感じ、2004年に設立しました。

連絡先
〒662-0832
西宮市甲風園 1-15-17
TEL/FAX: 0798-63-1516
Mail: office@cocoro-art.org
URL: http://www.cocoro-art.org

阪急西宮北口駅から徒歩5分位の所にある「ココロアート」コミュニケーション」の事務所にて、理事長の安田さんを訪ねお話を伺いました。事務所の入口の地面に色々なカラーのガラスやビー玉が埋め込まれていて思わず「かわいいな」と感じました。

―法人設立のきっかけ

団体としての活動の歴史は古く1994年から始まりました。そして1995年の阪神淡路大震災で混乱の中、被災した子ども達に支援の手を差し伸べようと考えました。その時子どもたちが自分の気持ちを絵に自由に表現することで、自分を解放することができ、心が休まることがきっかけとなり、絵やアートの持つ力を幅広く皆さんに広めよう、と考えられ2004年にNPO法人を立ち上げられた



―アートとは？

こちらのNPO法人で扱われているアートとは、絵（色彩）や彫刻、陶芸、音楽等所謂アート全般を言いこれらがもつ癒し効果で苦悩・悩み・迷い等を軽減しようとするものです。特に言葉で十分表現できない幼児や自分でも気付いていないことを気付かせてくれる力があるとのこと。アートセラピーが普通の図工と違う点は自分が作った作品に込めた思いを人と共有する点であり、また人に説明し質問に答えていく中で自分でも気付いていなかった事が見えてくることである、とのこと。

―注力している活動

「ココロアートコミュニケーション」では様々な活動をされています。ボランティアとして行っている老人施設への



訪問、終末期を迎える方への訪問、「あとりえ童」で行っている子ども中心の活動、障害のある方や働くママ等幅広く活動されています。

その中でも特に注力されている活動が「あとりえ」です。1歳半から3歳を対象にした「よちよちクラス」、3歳から15歳を対象にした「空クラス」さらに障害のある子どもを対象とした「風クラス」そして大人を対象とした「あとりえmanma」の各コースを設けられておられます。会報誌に書かれていたあるお母さんの文章ですが「長女が描く自身の絵が妹より小さい事に気付き、それ以降長女に母親を独占させる時間を持つよう心掛けた」とのことでした。絵からいろんな事が分かることに驚きました。

―今後の抱負

活動していく中で幅広くアートの効用を広め「各人が抱える苦悩や悩みを少しでも軽くしたい」という思いで今後とも活動を続けていきたい、とのことでした。今後の活動継続と拡大を期待しております。取材ご協力有難う御座いました。（訪問者 島崎）

利用者の気持ちに寄り添い 全員に目が届く事業を！

特定非営利活動法人

サポートステーション
Flat (ふらっと)

理事長 湯浅 文人
ゆあさ ふみひと



居宅介護事業、重度訪問介護事業、
行動援護、移動支援、生活介護
(Trunk) が主な事業内容です。

連絡先
〒662-0912
西宮市松原町 12 - 4
TEL : 0798 - 23 - 2616
FAX : 0798 - 23 - 2617
Mail : flat@bca.bai.ne.jp



阪神西宮駅東出口から徒歩5分、JR西宮駅から徒歩5分、総合福祉センター、西宮市役所、すべて徒歩5分程度。障害者がよく利用する施設の多くが集まっている地域、西宮勤労会館南西側に「サポートステーションFlat」があり、3階建の一軒家で事務所、活動作業場、販売などの拠点として利用されています。今は11名の利用者が通所し、他にも、ヘルパーの派遣・介護をこの事務所で手配しています。事業内容は、①居宅介護事業②重度訪問介護事業③行動援護④移動支援、そして、⑤生活介護が主な活動で、別に鷲林寺に畑を借りており、野外の作業も、取り入れていらっしやいました。常勤は理事を含め数名、その他ヘルパーや利用者が集まり和やかに活



動をしていました。早速、温和で親しみやすい人柄の湯浅理事長に2階の会議室に案内され、お話を伺いました。

—実施事業について—
1階、2階では生活支援の場、1階では作業のほか、「豆腐」「野菜」などを販売しており、自慢の豆腐を早速試食をさせていただきましたが、社交辞令無しに深みのある濃厚で美味しい豆腐でした。この豆腐に大変興味を持ち、色々聞きますと、豆腐作りは全くの素人ですが、団体として扱う商品については随分企画について色々苦しみ、試行錯誤、試作などの中より「毎日消費されるもの」「他の団体と競合しない商品」「大手でない手作りの良さが出る商品」という考えの結果「豆腐作り」を思いつき、現在の豆腐の完成に

行き当たったそうです！

ともすれば、一般的に生ものを扱う危険性や衛生観念などマイナス思考から入りがちな私達にとって、常識を乗り越え、豆腐も羊羹のように1個ずつ丸い風船にいられて、食するときに爪楊枝で穴を開けるとクルッと豆腐が出てくるその面白さ、衛生面、味：よく考えられているなあと感じしきり、月平均300個以上が売れており、今までの発想にない商品開発でした。

—理事長の想い—
設立メンバー3名は同じ法人で働いていましたが、自分たちの考えている実践が思うようにできず、多くのやりたい事が膨らみ、小規模な全員が分かる、目が届く事業をやりたいかった、利用者に近い目線で大規模ではできない、利用者の気持ちに寄り添った生活の場の提供が今日の同法人の指針になっていると熱く語る湯浅理事長。他に何か、工賃とやりがいある仕事はないか何時も頭からはなれず、多忙な毎日ですが、地域とのかかわりを通してノーマライゼーションの実現を目指し、これからも新しい試みを続けられる事でしょう。(訪問者 井本)

より良い行政施策の実現で
市民のための行政、自治を！

市民オンブズ西宮

代表世話人 折口 晴夫

おりぐち はるお

問題の当事者、被害者になっ てからではもう遅い

市民オンブズ西宮は、市議会の傍聴や情報公開を通じて、活動や公費支出をチェックし、市民にとってより良い行政施策の実現によって、市民のための行政、自治を目指しています。

連絡先

〒662-0881

西宮市上ヶ原七番町 1-6-107

TEL/FAX : 0798-52-9157 (折口)

Mail : haruo@fancy.ocn.ne.jp

URL : <http://omb-nishinmy.jugem.jp/>

市民オンブズ西宮第16回総会

設立経緯

代表世話人の折口さんは90年代から市民運動に参加され、95年全国的に展開された官官接待の追及を市民オンブズマン兵庫も行い、その住民訴訟にも関わられました。西宮にも必要だということと2001年「市民のための行政・自治を目指す」市民オンブズ西宮が誕生しました。

活動とジレンマ

活動の中心は、議会の傍聴や監査請求などを通して、ひらかれた議会・議員特権の廃止を目指しています。記憶に新しい元兵庫県会議員の号泣会見。その際も兵庫・尼崎のオンブズマンとともに合同記者会見をし県警への告発に至りました。マスコミで大きく取り上げられるのは氷山の一角。市民オンブズ西宮では立ち上げ以来、議員の政務調査費（現



在は政務活動費)の情報公開、自治体補助金の監査請求、住民訴訟などを続けてこられました。西宮市議会における政務活動費の領収書添付が始まったのは2007年度分から、とのことで正直驚きました。自治会やPTAでも当たり前に会計処理していることをやらずに済んでいたとは…

自治への道

「市民が身の回りにおきた問題解決を、議員や行政に『お願いする』のでなく、市民参加型や声を反映できる仕組みが必要。生活で精いっぱい若い世代がオンブズマン活動をするのはとても難しい。けれど自立した市民が一人、二人いたら市民運動はできると思う。若い人の中からそういう人が確かに出てきている。それをフォローしていけるような活動を続けていきたい」市民の自覚について考え直す機会を与えて頂きました。

知らなかった私も情けない。現在西宮では政務活動費の詳細すべてを情報公開課及びインターネットで公開、議会中継もあり、議員の賛否もHPで確認することができます。「以前と比べれば随分よくなってきたけれど…会派主義が続いていく限り、議会の体質を変えていくことは難しく、得票目的の活動に終始する議員もいる。市民に誤解されるが、オンブズマンには施策を是正

「問題の当事者、被害者になつてからではもう遅い」という言葉が印象的でした。様々な出来事を自分や大切な人に関連づけて考えることが必要だと思えました。

(訪問者 廣田)

今どきのママは大丈夫？ ママ同士のコミュニティ作りへ



特定非営利活動法人

すこやか女性プロジェクト

副理事長 池田 公美
(写真左) いけだ くみ

理事長 柚木 京子
(写真右) ゆうき きょうこ

2016年7月設立。
女性の健康（特に産前産後の女性）を
運動面からサポートする活動をしてい
ます。産後、赤ちゃん連れて参加でき
る教室も開催しています。

連絡先
〒662-0823
西宮市神呪町 8-20
TEL：090-4493-9326（池田）



「今どきのママは大丈夫？」
「今の若いママさんたちは、50
〜60代のシニア向け体操教室
についてこれないんです」。理
事長の柚木京子さんは「最近
のママさんの体力・筋力の無
さにはビックリします」と話
す。妊娠して夫婦だけで出産
を迎えるカップルも増え、ネッ
ト情報を盲信してひとり悩ん
でいるママも少なくない。若
い女性の骨盤を支える筋力の
低下は著しく、特に産後に体
調不良に陥り医療機関に通い
ながら育児をするママも増え
ているとのこと。何もかもが
便利で楽な世の中になり、昔
のように妊婦が田畑を耕した
り家で雑巾がけをすることな
どが無くなって筋力が落ち、
さらに正しい知識と基礎体力
を欠いた女性たちの将来には
大きな不安が拭えない。同じ
女性として早く手を打たね

ば！との思いがこのNPO法
人の活動原点になっている。
設立は2016年7月、出来
たてのNPO法人である。



「ママ同士のコミュニティを
日本マタニティフィットネス
協会に所属する理事長とメン
バーは、これまで産婦人科医
院や民間のヨガスタジオ等で
妊婦の体力づくり教室を行っ
てきたものの、この活動を広
げるための限界を感じていた。
これからはもっと行政や医療
機関等と連携し地域で活動を
広報しながら、将来ある女性
たちを運動面からサポートし
たい、その思いを実現する一
歩として任意団体からNPO
法人へと組織変更した。また
法人となった目的のひとつに
「運動をサポートすることから
更に進めてママ同士のコミュ
ニティを作りたい」との思い
がある。今どきのママは周り
に経験豊富な「先輩」がいな
くて出産や育児の場で孤立し
ている、頼るのがもっぱらス
マホのネット情報では先行き
心配で「人と人とが顔と目を
合わせながら交流し、必要な
情報を交換するママ同士のコ
ミュニティを作ることには、N P
O 法人だからこそできる活動
だと思っています」と語る。

「活動をもっと広めたい」
先日は、妊娠中の妻にペアと
なった夫がストレッチを手伝
い、お互いのいたわり合う気
持を醸成する「パパフィッ
ト」と呼ぶ講習を行った。そ
んなママたちに向けては、ど
うやって活動を宣伝している
のですか？と聞いたところ「そ
れが今後の課題なんです」と
のこと。有効な情報の発信は
これからとしても、今も十分
に魅力的な活動はいずれママ
たちの間に伝わっていくに違
いない。活動の中心地は、西
宮市市民交流センター1階の
体育室。また一般女性の体調
維持のための運動教室も行っ
ている。あいにくその見学は
「男子禁制」。だからこそ、関
心ある女性はぜひ一度この講
習を体験されてはいかがだろ
うか。（訪問者 白石）



ダンスを通じて 心を育てる

自己発信をテーマに、今後の日本を担う
子どもたちの心に目を向けています！

特定非営利活動法人

ダンスプロジェクト E.d.M

理事 上村正子
かみむら まさこ

2015年12月設立。
ダンスを通じて子どもたちの心を育てる
というコンセプトで青少年の育成に特化
した団体を立ち上げる。

連絡先
TEL : 050-5276-1981
Mail : info@edm.or.jp
URL : http://edm.or.jp/

世界を舞台に活躍してきたダンサーと仲間がNPO法人をつくった！理事でダンサーの上村さんにその思いをお聴きしました。

―活動にかける思い

基本は子どもたちにダンスを通して体を動かすことで心を開いてもらうこと。学校や家庭の問題をかかえても誰にも言えずにいます。最初に来たときは笑顔もないし「ああ…」くらいの反応しかない。そんな子どもたちの人には言いたくない辛い部分を、ダンスを通して関わりながら引き出していく、それがその子の笑顔を引き出す一番の近道なんです。涙を流して思いを吐き出して子どもが笑顔になる。その瞬間にやりがいを感じて活動しています。

―子どもたちへの思い

私自身、両親が離婚して、



なりませんし、褒められてばかりだと奢りが出て謙虚さや初心を忘れてしまう。子ども達に挨拶や礼儀などを教えながら私自身も学んでいます。本当にありがたいです。

―子どもたちに伝えたいこと

「一生懸命、生きる！」ことですね。誰かのようにになりたいじゃなくて、「自分はどうなりたいか？」を考えてもらいたい。みんなに与えられた人生、全員意味があって生まれてきていて役目があるのだから、それを見つけてやっていく、その手助けはするからと。そんな子どもたちが笑顔になって成長して、私から巣立っていくときは少し寂しいけれど、その子どもたちがまた、感謝の気持ちを伝えに来てくれる。「それでいいんだ」と思えるようになりました。

―取材で感じたこと

私たちの想いである「子育てをみんなまで」を実現されている姿に感銘しました、ありがとうございます。ダンスプロジェクトEdMさんの

レッスンは、月に一回行われています！気になった方は、ぜひ、お問い合わせ下さい。

(訪問者 中島)



NPO 法人

Namae

理事長 北野 美貴

きたのみき

障害のある人たちが社会の一員として、働く喜び、生きる喜びを持って生活していくことを支援し、障害を持つ人たちへの理解を深め、互いに認め支え合う「共に在る」社会をめざしています。

連絡先
〒663-8211
西宮市今津山中町7-22
TEL・FAX：0798-34-2039
Mail：saya.namae@ray.ocn.ne.jp

地域に開かれた 場所にしたい!



今津駅から旧国道沿いに東に進んだところに、「NPO法人 Namae」のなまへの会作業所(ギャラリー)手作りの店(サヤ)があります。玄関には、季節の野菜や果物が並び、中に入ると、目の前のギャラリーには個展の絵が飾られ、周囲には作業所の皆さんの手作りの品々が並んでいました。就労継続支援B型という、障害のある方々が働くこの作業所で、代表の北野さんにお話を伺いました。

—これまでの活動や思い
最初にこの活動を始めたのは20数年前、障害のある子ども達を普通学級と一緒に学ばせるという運動が盛り上がった時期で、教育関係者が、悩むご家族の相談にのったところから自然発生的に生まれまし



た。「なまへの会」という団体名は、「名前は一一人ひとりどんなものにもあてとでも大事なものの。個々を大事にしよう」という思いでつけました。

—今されている活動
何の作業が良いかスタッフの方々の中で試行錯誤して、今の形になりました。刺し子刺繍のふきんやコースター等の手作り品、牛乳パックを使った、葉書、和紙やカレンダーなどを作って販売しています。ジョブステーション西宮との連携で、今まで捨てていた野球ボールの修理の仕事など、得意なことを生かした活動も、広がってきています。

—利用者の方はどこに来てどう変わりますか?
「自分の主体性や意欲が出てきます。みな真面目なんです、

このメンバーさんたちは一生懸命なんです」と言われるように、皆さんの真剣にお仕事に向き合う姿と、「仕事が楽しい」と目を輝かせて言われる姿が印象的でした。

「皆、絶対評価します。一人ひとりがどれだけがんばってきたかを評価しています」と長い経験からの北野さんの言葉は重く、「その人なりの成長をありのまま受けとめて絶対評価する。そうやって見守り育てることが出来る」ということを教えていただきました。

—今、力を入れていることは
地域に開かれた場所にしたいという気持ちでつくられたギャラリーは希望があれば無料で利用でき、取材当日は初めて個展を開いたという方の色鉛筆の素晴らしい絵が展示されていました。

ギャラリーを覗に来た方々がメンバーさんたちが仕事を頑張っている姿を見る。皆さんもお客さんがいつも来て自分達のこと見てくれていると思えるのだとお聞きし、これから一市民として覗きに来ようと思ひ取材を終えました。

(訪問者 中島)



伝統的な遊びを通じて 「楽しさプラス健康」を！

兵庫県の500人委員会第1期生で組織していた「ココロクラブ」という心豊かな人づくりを目指す団体のメンバーに「日本お手玉の会」の会員がいたことから同団体を基盤に日本お手玉の会西宮支部として発足。

連絡先
〒663-8002
西宮市一里山町6-11
TEL・FAX：0798-53-5766（高田）



―発足のきっかけは500人委員会

昔遊びの一つが名称となっていることで比較的印象に残りやすい団体ですが、毎年恒例の「にしのみや市民祭り」に参加しているコーナーと十月の定例会の会場にお伺いし、会長の高田さんはじめ会員の皆さまからお手玉遊びと会の状況をお聞きして感想をまとめてみました。兵庫県500人委員会第1期生で組織していた「ココロクラブ」という「心豊かな人づくり」を目指す団体のメンバーに「日本お手玉の会」の会員がおられたことから「ココロクラブ」の基盤に賛同者が加わり日本お手玉の会西宮支部として発足し現在に至ったそうです。

―活動の目的

「お手玉遊びを通して世代を超えた交流を図り明るく心豊かな



―お手玉を作るところから教えています

な社会の実現に努力し、素晴らしい伝統文化のお手玉を広く正しく、創造性豊かに後世へ引き継いでいくことを目的として活動をされています。

―地道な活動の継続で人気上昇

毎月第4木曜日に開催する定例会を核として年四回のお手玉教室、にしのみや市民祭り

や西宮NPOフェスティバル

への参加アピール等地道な活動を根気よく続けてきたこと

と、テレビや新聞雑誌での「お手玉が健康維持に良い」との

報道の影響か、お手玉に興味を示す人や団体が増えてきて、

地元の小学校から昔遊びの一つとして「お手玉」を取り上げられ指導を依頼されるメン

バーや、各種施設の催しや「いきいき体操後の運動」として

のお手玉指導が求められる機会も増えてきたとのこと。

―課題とお願い

現在の会員数は十四名ですが、お手玉への関心の高まりと期待から保育園や小学校その他各種団体からの協力依頼もあり楽しさは広がっていくと思

われますので、伝統的な遊びを通じて何か役に立ちたいと

考えておられる方々の積極的な活動参加を求められています。特に男性会員は現在少な

いですので今後のご協力が沢山得られることを期待して

ます、ということでした。

（訪問者 立田）

自分の人生を自分の力で。
 高校中退者の進学を支援！

一般社団法人

new-look

代表理事 **山口 真史**

やまぐち まさし



**すべての若者が、
 自分らしく生きる
 きっかけを！**

設立：2013年5月1日
 高校中退者サポートを行うだけでなく、
 大学や専門学校の進学を支援していま
 す。働きながら通っている方も数多く
 います。

連絡先
 〒663-8032
 西宮市高木西町 14 - 6
 TEL・FAX：0798 - 56 - 7139
 URL：http://www.new-look.jp

— 法人を設立した経緯

TOB塾（とぶじゅく）は、
 高校中退を選んで、高校を飛
 び出して、自分で人生をスタ
 ーとする人を応援する塾。つま
 り自ら感じ・考え・行動しな
 がら生きていくことを目指し
 ています。

代表の山口さん自身も高等専
 門学校を中退した経験がある
 そうです。後に大学に行きた
 いという思いがつのり、関西
 学院大学に合格。同時にNP
 O法人で青少年に対するボラ
 ンティア活動（小・中生を対
 象にした子供キャンプや不登
 校の子供の支援、家庭教師や
 補習教室など）を始めていた
 そうです。卒業していったん
 は就職をしたものの、200
 7年関西学院大学大学院教育
 学修士を取得。2009年に



— 主な事業内容は

① 学習支援事業（サービスマ名：
 TOB塾（とぶじゅく）※高
 校、専門学校、大学を目指す
 人を学習支援します。

※2016年入学実績／関西
 大学など、高等学校卒業程度
 認定（高認）

② 進学相談・就職相談

③ 自然体験・社会体験事業

（サービスマ名：とりののはたけ）

④ 情報収集及び情報発信に関
 する事業（プロジェクト名：
 ナイトクルージング、ヒラケ
 ゴマプロジェクト）

— 取材で感じたこと

取材したその日には生徒さん
 と先生と一緒に食事をしてい
 ました。自分たちで食事を作
 り、食べているそうです。生
 徒さんはそんな時間に自分の
 夢や悩みごとを相談したりし
 ています。まるで『兄貴』の
 ようです。また彼らのお父さ
 んやお母さん向けに相談を受
 けているそうです。

TOB塾には午前中働いてい
 て夜に登校する人や自分で稼
 いだお金で登校する人もいま
 すので、今後更にそういった
 生徒が学びやすい環境を整えて
 いくそうです。

new-lookを設立されました。

（訪問者 中村）

経済的な困難を抱える家庭の子弟を
学習支援で学力格差を無くしたい！

特定非営利活動法人

阪神つばめ学習会

理事長 庄司 知泰
しょうじ ともひろ



阪神つばめ学習会とは、経済的に厳しいご家庭の子供達のための学習支援を無料で行っている学習会です。2015年8月より西宮で活動を開始。2016年4月より神戸でも活動を開始。8月より特定非営利活動法人となりました。

連絡先
Tel : 0798-35-1010
Mail : hanshin.tsubame@gmail.com

「断らない」
「頑張らない」
「あきらめない」

—法人を設立した経緯を教えてください—

2年前私はボランティアで養護施設の塾で子どもたちを教えていました。自分は経済的に恵まれていましたが、家庭の事情で十分な学力が習得できない子どもたちがたくさんいることを知り、なんとかしてこのような子どもたちの学習支援ができないかと考えていました。

東京に八王子つばめ塾という無料塾があることを知り、東京まで出向いて延々4時間ほど細かい運営方法や問題点などを聴取し、自分でもやれそうな感触を得ました。大学の知人4人に相談し協力を得られることになり、平成二十七年八月に団体を立ち上げ平成二十八年八月に法人化しました。



—学習塾の状況について—
講師は大学生、元塾講師、翻訳家など約百名がボランティア登録しています。無理をせずに時間的に対応できる時に協力して頂くようお願いしており常時活動に参加されているのは約20名くらいです。子どもたちは中学生が対象ですが小学生も状況に合わせて受け入れています。家庭学習の手助けとして自習で解からないところをわかりやすく教えています。「勉強したい」と子ども自身が意欲を持っていますを受け容れています。現在西宮市と神戸市で教室を開催



しており、西宮市で月に8〜9教室、神戸で4教室開いています。夜の2時間の学習時間があつという間に過ぎてしまいます。

—取材で感じたこと—

お話を伺った理事長の庄司知泰さんは、会社経営の傍ら学習塾を運営されています。話の端々に子どもたちへの愛情と塾の存続について並々ならぬ強い熱意が覗えました。

□□ミでこの学習塾を知った人たちの輪ができ、ホームページのアクセスも増えているとか。最近では朝日新聞の教育欄で「教育格差を防ぐ支援の輪」として「阪神つばめ学習会」が取り上げられています。

「同じ思いを持った人との活動の輪を広げたい」と願う一方で教室確保に苦労されており、何らかの行政支援ができないものかと考えさせられます。

「断らない」「頑張らない」「あきらめない」をモットーにされ、自然体で粘り強く継続できる塾運営に努力されている庄司さん、阪神つばめ学習会の活動がより多くの人たちに認知され、協力の輪が広がっていくことを願って止みません。(訪問者 森)

障害者がパソコンネットワークを通じて 存在感を感じる社会へ

特定非営利活動法人

阪神パソコンネット

理事 井本 芳助

いもとよしすけ

理事長 田中 久富

たなか ひさとみ

障害者がパソコン操作のスキルアップを努力し、自立と就労を可能にするNPO法人運営を目指して活動しています。

連絡先

〒662-0978

西宮市産所町2-19

Tel : 0798-32-6531

URL : <http://hpcn.jp>

Mail : hpcn@miracle.ocn.ne.jp



NPO法人阪神パソコンネットの理事長田中さんと理事の井本さんにNPO法人を立ち上げた思い、現在の活動状況をインタビューしてきました。

―活動を始めた経緯―

井本「私は阪神・淡路大震災が起きた頃、神戸の建築関係の商社で役員をしていました。震災が起きて大きく人生が変わりました。震災後の神戸で、交通状況も悪い中、自分の足を使って様々な働きをしました。心身とも限界の状態でした。それが原因でその後、心臓の弁に異常が見つかり、手術をして1ヶ月入院しました。それで、障害者認定されました。それまで自分が障害者認定を受けるとは思ってもみませんでした。誰もが障害者になる可能性があるのだと、そのあたりから少しずつ意識が



職業用刺しゅうマシン

変わりました。」

田中「私も、交通事故をきっかけに障害者認定を受けることになりました。それがきっかけで伊丹の能力訓練校に行くようになり、そこで井本さんと知り合いました。」

井本「手術の後、会社で情報室の統括を任されることになり、総務のIT化に貢献しました。当時、windows95が発売され、空前のパソコンブームが起ころうとしている時期でした。その後、しばらく休暇をとったのですが、その頃に、NPO団体と出会いました。そのことがきっかけで、その後会社を退職し、小規模作業所を開設することになりました。当時はパソコンブームの影響もあり町のパソコン教室が大繁盛でした。ただ、受講料は高価で数名以上の教

室スタイルでは個々のレベルに合わず、せっかくの意欲を生かされない方が多々いるのではないかと思い、障害者、高齢者に目線を合わせ個人レッスンを主としたパソコン教室をはじめました。受講料もカルチャーセンターより安い値段で通えるように設定しました。」

―障害者がパソコンネットワークを通じて存在感を感じる社会へ―

井本「その後、NPO法人を設立し、現在は、高齢者・障害者のパソコン支援、チラシや名刺の印刷、Tシャツのプリントや缶バッジの制作などを請け負っています。

障害者が本当の意味で自立と生きがいを実現するためには、パソコンの知識は不可欠だと私は考えています。ハンディがある障害者にとって、パソコンはそれを補い、広く社会とコミュニケーションを可能にし、今までできなかった問題を可能にし、大きな恩恵を持たらすもの。障害者がパソコン操作のスキルアップに取り組み、自立と就労を可能にするNPO法人運営を目指して活動しています」

(訪問者 矢野)

**自治体との
協働事業**
「成年後見制度」
「相続」

NPO 法人
兵庫県不動産コンサルティング協会

理事長 田中 博行
たなか ひろゆき

**ビル・マンションの
管理**

**NPO法人
兵庫県不動産
コンサルティング
協会**

**土地の
有効活用**
事業用定期借地

**借地・借家の権利
関係の調査・整理**

**マンション管理組合
への支援**

連絡先
〒663-8183
西宮市里中町 1-1-19-101
TEL : 0798-44-3970 FAX : 0798-44-4680

URL : <http://www.hreca.or.jp>
Mail : mail@hreca.or.jp



―設立の経緯
不動産の問題は不動産業者や
信託銀行だけでは解決できな
い問題が多く、それらの問題
の解決には、さまざまな専門
家が必要になるため、いろい
ろな専門家の集まりのNPO
法人を平成13年に立ち上げ、
15年たちます。

**―町の不動産屋さんとは何が違
うのでしょうか？**
町の不動産屋さんには住宅、土
地の売買、仲介が専門で、例
えば相続で得た不動産の処分
の場合他の専門家が必要とな
る場合もあります。

―活動の具体例①
「駐車場利用土地を農地へ原状
回復↓返還↓賃貸借契約を解
除」
工場の駐車場用地として賃借
していた土地をもとの農地に



戻して返還するようなコンサ
ルを受けた場合は、一人の専
門家では手に負えません。土
地を原状回復する場合は、畦
の復元や取水路と排水口の設
置等に関する土木施工仕様書
までを作成しました。農地と
して土を入れる等の種々の知
識が必要となるためです。

―活動の具体例②
「駐車場の費用の不払い」
駐車場を借りていた賃借人が
車を置いたまま、駐車場の賃賃
料を払わなくなりました。賃
貸人としては、契約解除した
いが、他人の物を勝手に処分
できず、賃貸料がはいらな
いうえに新たに貸すこともで
きず困っていました。協会が
相談にのり、解決方法をア
ドバイスしました。後日、無
事解決したと嬉しい報告があ
り、当法人の強みを活かして

お役に立てたなあと、ほっと
胸をなでおろしました。

―活動の具体例③
「成年後見制度の相談」
不動産と直接関係ないように
思えますが、高齢のため施設
に入居した結果、住居が空き
家となり、管理のため成年後
見制度が必要になるケースが
発生します。

この場合所有者が亡くなった
あとのことまで想定する死後
事務業務契約をしておくこと
が重要です。

協会では社会環境の変化に伴
い発生するいくつかのテーマ
をもって年数回研修事業を開
催しています。

その他マンション等で管理費
の長期滞納等が発生した場合、
少額訴訟とかに持ち込む必要
がありますが、実際経験して
いないものが行くと、結構大
変な作業になります。協会
には実務経験者の簡裁訴訟代
理関係業務認定司法書士がお
られ、スムーズに対処可能と
のことでした。

―取材で感じたこと
取材を終えて、不動産で困っ
ている人のよろず相談所との
印象をもちました。
(訪問者 広尾)



子どもたちの声が聴こえるこの場所、
この街で、市民のための情報発信を！

NPO法人

みやっこサポート

理事長 中島 恵美

なかしま えみ



2016年1月設立。
市民の生活を支援するために、
福祉情報サイトを運営し、市民が
集える場所や機会を作り、市民交
流支援を行っています。

連絡先
〒662-0034
西宮市西田町 6-4
TEL : 0798 - 81 - 5301
URL : <http://miyasapo.net>

力を合わせ 支え合い ともに健やかに



昨年10月にオープンした、美しい緑の公園の景色が見える、事務所兼地域交流スペース「つどッテ西田公園前」に伺いました。「ここで、公園から聞こえる子どもたちの声を聴くと、どんなに辛いことがあってもがんばろうと思えます。この事務所は不思議な縁で見つかりましたが、西田公園は私が幼いころによく遊んでいた公園で、小さい頃から見守ってもらったこの街に恩返しができればと思っています」と言われる代表の中島さんにお話しをお聴きしました。

―法人を設立した経緯を教えてください―

構想は10年以上前から持っていました。以前、特別養護老人ホームで高齢者介護に関わる仕事をしているときに、ご利用者さんやご家族から相談

を受けながら、介護保険制度になっても地域に深刻な問題が取り残されているのを目の当たりにして、いつか地域福祉に役に立ちたいと漠然と考えるようになりました。それから通信大学で社会福祉を学び、仕事をしながら「地域福祉を良くするには何が一番必要か」を考え、たどり着いた答えが「福祉情報の一元化」で、困っている人と必要な支援をマッチングできれば、どれだけ皆さんが助かるだろうと考えたのです。その当時は、仕事柄、高齢者の方々の支援ばかり考えていましたが、ある時、子宮頸癌の術後に体調を崩した友人の手伝いをしたことで考えが変わりました。「若くても手助けが必要、困っているのは高齢者だけではない」と気づき、高齢者だけで



なくすべての市民が、苦しいときに、「助けて！」と言える街づくりを目指そうと思うようになりました。そして長年勤めた職場を退職し、昨年NPO法人を設立する決意をしました。

―現在の活動と今後の展望―
現在は、地域交流スペースで福祉情報の発信や教室、イベントなどを行って、市民の方がお知り合いを増やせるような活動をしながら、福祉情報のポータルサイトの制作を進めているそうです。

―二人、また一人と支援の輪が広がってきています。皆さんの力を一つにしていけば、素晴らしい街になると思いますので、ぜひ「つどッテ西田公園前」に遊びに来てください―とのお話でした。

―取材で感じたこと―

今回、理事長の中島さんのお話を聞いて、地域と地域のみなさんに対する強い想いを感じました。

この地域交流スペースが、いつも笑顔と笑い声のたえない場所になり、地域と共に支え合い健やかに成長していくことを願っています。

(訪問者 矢野)

Think globally Act locally!



編集後記

「みやしるべ」3号が装いも新たに完成しました。今号では、NPOに馴染みの少ない高校生や大学生を交え「NPOって何？」というテーマで座談会を行い特集記事でご紹介しています。これからの日本を担う10代から、働き盛りの30代、40代、これまでこの国を支えてきた70歳を超える世代まで、世代を超えた議論ができ、初めての試みとしては満足いく結果になりました。

NPO等がより主体的に地域の生活課題に取り組むためには、こうしたボランティアへの関心や地域福祉活動に興味を持ってもらうための活動が必要だとあらためて感じました。そして、NPO訪問記では、12団体を取材しました。記事の作成はすべて広報部会のみならず、写真もほとんどが撮り下ろしです。NPO法人は西宮市だけでも、平成29年の1月現在で179団体あり、この数は意外にも

西宮市内のすべてのコンビニエンスストアの数より多いとは知らなかった」と思う市民の方も多いと思います。我々、NPO団体のメンバーでも、普段なかなか他の団体と触れ合う機会がないということもあり、取材をすることで、どういった団体があるのか、どんな活動をしているか、実際に目にするのができ、新たな発見をすることが多々ありました。特集記事の冒頭でも書きましたが、NPOは福祉分野のみではなくさまざまな分野で活動しています。そういったことも含め非常に興味深い記事ができたと思います。今回、写真にもこだわり、少しでも多くの市民のみなさまに興味を持っていただけるように、そしてNPOで活動する方々の思いが市民のみならず、まに伝わるように思いを込めて制作しました。気になった団体があれば、記事の中に連絡先を記載しておりますので、ぜひお問い合わせください！

今回「みやしるべ」への取材協力を表明して頂いた団体の皆様（掲載先団体を除く）

本誌、NPO訪問記は市内のNPO部会の皆様にアンケートを実施し「みやしるべ」への取材へ「協力できる」と回答して下さった団体へお伺いしたものです。NPO訪問記として掲載された団体以外にもたくさんの回答をいただきました。本当にありがとうございました。

〔(特) Felio〕〔(特) ハートフル〕〔(特) 関西トータルヘルスサポートセンター〕〔地域活動支援センター太陽〕〔兵庫県地球温暖化防止活動推進委員会〕〔(特) アマモ種子バンク〕〔あゆみの会〕〔(特) ゆーあい〕〔公益社団法人日本空手協会賛助会員西宮支部〕〔(特) 介護保険をよくする西宮市民の会〕〔(特) 支援の会ひまわり〕〔(特) ところ・からだ研究所〕〔(特) 障害者生活支援センター遊び雲〕〔ゆりの会〕〔西宮いきいき塾〕〔(特) 兵庫県防災士会〕〔(特) 銀のロバ〕〔(特) 人と地域の活動応援団ほっかぼか〕〔(特) 認知症予防サポートネット〕〔(特) 西宮市マンション管理組合ネットワーク〕敬称略
略記：(特) 特定非営利活動法人(なし) 任意団体